

あまくさ



第74回県民体育祭 天草市3位入賞!

9月15日(日)に宇城市美里町砥用中学校体育館において開催されました県民体育祭剣道競技において、天草市チームが見事3位入賞を果たしました。1回戦は、山鹿市と対戦しました。副将戦を終えて1対2の劣勢でしたが、大将高濱選手が奮起して2本勝ちし、本数の差で勝つことができました。2回戦(準々決勝)は人吉市と対戦しました。次鋒福島選手、中堅鳥羽瀬選手、副将城下選手が勝ち、準決勝進出を決めました。準決勝では、開催地の宇城市チームと対戦しました。2対2の大接戦でしたが、残念ながら本数で下回り、決勝進出を逃しました。決勝戦では、熊本市が実力の差を見せつけ、4対0で勝ち優勝を決めました。天草市チームにおいては、次鋒の福島選手が3戦全勝と大活躍でした。上天草市チームは、1回戦で球磨郡チームと対戦し、園田選手が一人気を吐いて見事2本勝ちしましたが、1対4で敗退しました。次年度の奮起を期待したいと思います。

今回の大会を振り返り、天草には剣道人材が豊富であり、磨けば優勝も夢ではないと感じました。しかしながら、地域が広く、集まっての稽古が困難であること、仕事の関係で選手全員が揃っての稽古が難しいことなどの大きな課題があります。この課題を克服するには、選手あるいは選手候補の人たちが、それぞれの地域で、いかに稽古時間や稽古相手を見出し、自分を磨き上げていくかにかかっています。試合前だけでなく、年間を通して、日々努力してほしいと思います。

【剣道雑感~自分を高め、互いに高めあう稽古の在り方について】

天草剣道連盟には多くの会員が属していますが、一般の稽古会への参加がやや低調のように感じます。そこで、自分なりに、改善策を考えてみました。まず、会員一人一人が剣道に対する向上心を持ち、具体的な目標を持つこと。昇段審査に挑戦することや試合に出場することは一つの目標になります。一つ上の段に挑戦したり、進んで試合に出てみようという会員が増えることを期待します。次に、そのような人の意欲や技能を高段者がいかに高めてやれるかです。長所を引き出し、伸ばす指導を通して、「この人と稽古してよかった。またお願いしたい」という心情を持たせることが大事です。そのためには、打たせ方、稽古時間、終わり方などに工夫と配慮が必要です。また、高段者同士も稽古でお互いを磨き合い、高めあう努力が大事です。現在、天草剣道連盟には七段が21名いますが、残念ながら八段はいません。七段になって安心するのではなく、大変な難関ですが、最高位である八段審査合格に向かって稽古に励むことにより、自分の剣道をもっと高めてほしいと思います。



3位入賞の天草市チーム



上天草市チームの選手